

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ



基本情報 2023年度の累計 (2022年度寄贈365ト提供368ト)

寄贈 167.6ト 前年同期比97.8% 提供 161.9ト 前年同期比95.4%

9月

寄贈食品計 36.7ト

企業・生協等	21.8ト
フードドライブ	12.9ト
寄付金購入	2.0ト

提供食品計 346回 31.2ト

行政・社協	51回	3.7ト
地域フードバンク	90回	10.7ト
こども食堂等	169回	12.7ト
施設・福祉・外国関連	36回	3.1ト

紙幅に限りがあり、
敬称略で報告します。

寄 贈 (入庫)

入庫重量36.7トは前年比70%、こども家庭庁「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」助成採択、米250kg・食支援セット660kg入庫。

提 供 (出庫)

出庫重量31.2トは前年比78%、前月比87.1%。食支援登録団体が増加し、地域フードバンク、こども食堂等の利用が増加。

〇事業者寄贈

マルハニチロ (冷凍総菜他)、山崎製パン (パン)、コカ・コーラ (飲料)、キリン (飲料)、相鉄ホールディングス (米) 相鉄ローゼン (米)、ミツハシライス (米)、日本食研 (たれ、つゆ)、横浜流通、富山県漁連、東京サラヤ、日生協、ユーコープ、パルシステム神奈川、フードバンクTAMA、他

〇防災備蓄品

JFEプラントエンジニアリング、富士通、三菱UFJ信託銀行、旭化成労組、京三製作所、東京海上日動火災保険、東神奈川リハビリテーション病院、パルシステム神奈川

〇フードドライブ

イトーヨーカドー (26店舗)、無印良品 (39店舗)、そうてつローゼン、イオン、高島屋横浜店、中栄信用金庫、日本銀行横浜支店、三浦半島教職員組合、スズキ自販湘南、大塚商会、神奈川トヨタ、明治安田生命、神奈川県庁、横須賀市、栄区役所、神奈川県漁連、ナチュラルコップヨコハマ、神奈川学生ボランティア連合、JAさがみ、JA横浜磯子、ドコモショップ、ユーコープ、パルシステム神奈川、生活クラブデポー、他

〇米一合運動/プロジェクト

富士通ゼネラル労組、JA横浜たすけ愛の会、ユーコープ湘南2エリア他

〇行政・社協・委託 26団体

横浜市・区社協、横浜ひとり親支援 (横浜市母子寡婦福祉会)、川崎市、相模原市、横須賀市、鎌倉市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、秦野市、伊勢原市、葉山町、藤沢市社協、平塚市社協、綾瀬市社協

〇地域のフードバンク 52団体

お福わけの会、カナンキリスト教会、たすけあい、川崎医療生協、くろーばーマーケット、さくらの森・親子サポートネット、さろん、セカンドリーグ神奈川、マモリヤ、報徳食品支援センター、ぶどうの木、ユナイテッドかながわ、FB伊勢原、FB浜っ子南、FBふじさわ他

〇こども食堂居場所等 101団体

COCOLOの会、SISA、RCB大口夢、アフリカヘリティジコミュニティ、かえでこども食堂、金沢こども食堂すくすく、横浜朝鮮初級学校、川崎朝鮮初級学校、キッズカフェ杉田、子ども食堂マリイこいの家、こどもすまいる食堂、しあわせ配達便、となりのレストラン、ハレルヤこども食堂、みつばち学童クラブ、横浜市立大学、よこすかなかながや、ひまわり、他

〇福祉・病院・外国関係 25団体

国際交流支援BP、スマイルキッズ、SSネット、カラー、こども家庭支援センターゆいの木、児童家庭支援センターかわわ、湘南つばさの家、スペース海、新倉ホーム、他

合意書締結団体

寄贈締結団体	276団体
提供締結団体	345団体
行政・社協	62団体
市民団体	283団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	
フードドライブ回収拠点	349か所

賛助会員寄付状況

団体会員	220団体 710口
	710万円
個人会員	315人 1829口
	1,829,000円
寄付	
2023年度	7,369,160円
累計	85,183,736円

【新理事メッセージ】

「誰一人取り残さない」ための活動を

神奈川県労働者福祉協議会
事務局長
金井 克之さん



第6回通常総会で新しく理事に就任しました神奈川県労働者福祉協議会の金井です。よろしくお願いいたします。

私はこれまで連合神奈川にて10年間活動をし、最初の8年間は政策担当ということで政策提言の作成と実現に向けて取り組みをしていました。政策担当として、三年目となる2016年のとある会議でSDGs市民社会ネットワークの方、各種NPO・NGOの方々との連携が始まり、SDGsを連合神奈川の政策に取り入れ、地方行政へ提言するきっかけとなりました。

この「フードバンクかながわ」設立時の共同代表でありました柏木さんが連合神奈川会長の時期で、政策にSDGsを取り入れたいと私が提案した際にアドバイスや応援をしてくれたことを思い出します。

これからもSDGsの基本、「誰一人取り残さない」ための活動を考え、取り組んでいきたいです。

※写真は、某TVドラマで注目されたモンゴルでフタコブラクダに乗った時の写真をご提供いただきました。

食品を利用された方々からの「ありがとうの声」をご紹介します

♥物価高騰の今、本当にありがたく感謝感謝です。自分が仕事で留守の日の昼に食べるレトルトやごはんなど、子どもがとても喜んでいました。買ったことのない商品を試せたのも嬉しいです😊

♥普段あまり買ってあげられないお菓子をいただいた時は、子どもが本当に喜んでいました。

♥冷凍食品は子どもがおなかがいっている時に自分で温めて食べられるので助かっています😊

♥食品提供してくださっている方々のおかげで家計がとても助かっています。普段お菓子を買う余裕もあまりなく、持って帰るととても喜んでいました。



♥物価高の影響と光熱費の高騰で、家計は本当に厳しいです。援助していただいた物資のおかげで子どもに食べたいものを与えることができ本当に感謝しています😊

♥食材をご支援くださった方、本当にありがとうございます。すぐく食材もおいしいので、これからもできたらご支援よろしくお願いします。

♥食材がどんどん値上げされて家計も厳しくなっている中、このようなご支援をして下さり、本当に助かっています。

9月のフードバンク

企業様からの大規模なご寄贈が増えていきます。冷凍食品のご寄贈も順調に拡がり、年間目標の30トンを超える勢いです。また、フードドライブの取り組みも浸透し、最近では「学校のイベントでフードドライブを行いたい」との問い合わせを多数いただいています。おおせいの方々に食品ロス削減と食支援を呼び掛ける機会として、フードドライブが様々な場面で広がっているのはとても嬉しいことです。

お米のご寄付も企業・団体様からのご寄付や米一合運動などの取り組み、個人の方から「お米を寄付したい」との問い合わせもたくさんいただいています。

皆様のもったいないをわかしあい・ありがとうへとつながるアクションに感謝申し上げます。



フードバンクかながわ
ホームページ



キリンビバレッジ(株)様
スポーツ飲料4.5トン



マルハニチロ(株)様
冷凍食品(魚・総菜)1.9トン



横浜流通有限会社様より
芽ひじき



富士通ゼネラル労組様より
お米のご寄付



ユーコープ店舗で取り組んだ
フードドライブ品3,142kg



生活クラブデポー
フードドライブ品284kg



パルシステム神奈川フードドライブ品3,751kg(左)と一食分
のおもいやりを届ける「おもいやりセット」1,259kg(パック
ご飯、イワシ缶、卵スープ)



相鉄ホールディングス様より
相鉄線沿線で活動する食支援団
体へのご寄付として米320kgを
頂きました。
フードバンクかながわを通じて
横浜市瀬谷区の「お福わけの
会」と「くろーばーマーケット」
の2団体にお米をお届けし
ました。



JAさがみ様フードドライブ



中栄信用金庫様フードドライブ



かながわ学生ボランティア
連合様



戸塚地域連合
労協戸塚支部様



三菱UFJ信託銀行様
災害備蓄品のご寄贈



ユーコープ湘南2エリア
の皆様
8月に取り組んだ米1合
プロジェクトで
集まったお米を
寄贈頂きました



2023年度第2回政策研究会

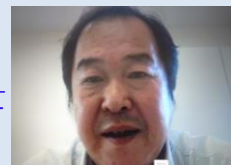
地域の食品ロスを地域の福祉で活用を

福岡県フードバンク協議会と
エフコープのフードバンク支援の取組について

エフコープ組合員活動部

一般社団法人福岡県フードバンク協議会

事務局長 向居秀文さん



福岡県フードバンク協議会は、地域の地産地消型の食品ロス削減をめざし、県内のフードバンク活動を支援する組織としてエフコープ生活協同組合と県内の4つのフードバンクが中心となり2019年に設立されました(現在はフードバンク9団体)。各団体の活動を尊重しつつ、企業等からの食品寄贈の窓口と取りまとめを協議会に一本化して寄贈企業の新規開拓し、フードバンク団体の立ち上げ支援や認知度向上などに取り組んでいます。向居さんは協議会事務局長として協議会運営に携わる一方、エフコープの活動としても商品保管場所の提供やフードドライブやパントリー開催等への協力などの支援を行っています。

台風や豪雨災害の折に配送ができなくなった食品や、生産過剰となった農産品などは協議会が地域フードバンクに手配し、食品が無駄にならずに必要な方に提供できるよう、早めの対応を心掛けているとのこと。食品を提供する側も、受ける側も何かあれば相談できる体制、日常的な情報共有を欠かさずに行うことが円滑な支援につながっています。

協議会では直接的な食支援だけでなく、企業等からの寄付金を集め、地域フードバンクへの助成事業を行い、各々の活動に生かせる仕組みも作っています。また、行政との連携のもと、各団体の要望を聞き取り福岡県の予算に反映させるなど、県内の食品ロス削減とフードバンク活動推進に向けて、大きな力を発揮しています。

体験研修



高崎経済大学の皆様



横浜市立大学ボランティア
支援室学生スタッフの皆様



ユーコープかながわ県本部の皆様



川崎中央第2民生委員の皆様



シニア連合の皆様



ユーコープふれんず梅の実の皆様



相鉄労組OBの皆様

引き続きお米のご寄付をお願いいたします

*米一合から何トンでもお受けします。

*お金のご寄付やお米券もお受けしています。